

2015年のできごと

1月8日 地理院地図をリニューアル

地理院地図をモバイル端末でも利用可能にし、より高速に地図や重ね合わせ情報を表示できるように改良した。

1月8日 GSILIB を公開

マルチ GNSS のデータを統合的に利用して、短時間に高精度の位置情報を取得し、測量等に適用することが可能なソフトウェア (GSILIB) を公開した。

1月10日 企画展「第18回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催

地図と測量の科学館ほか2会場において、企画展「第18回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催した。本企画展は、全国各地で開催されている児童生徒の地図に関する作品展から選ばれた優秀作品を展示するもので、152作品を展示した。また、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞の表彰式が1月16日に国土交通本省で行われた。

1月14日 平成27年度予算の政府案が決定

平成27年度予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院の予算案は、総額約97.5億円となった。

1月14日 第272回地震調査委員会に出席

文部科学省において第272回地震調査委員会が開催され、今給黎地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2014年12月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

1月29日 第12回北海道測量技術講演会を開催

北海道地方測量部は、1月29日に札幌第1合同庁舎講堂(札幌市)において、測量の日記念行事として、第12回北海道技術講演会を開催した。

2月3日 宇宙インフラを活用した防災パッケージに関するワークショップに参加

タイ王国のバンコクで行われた宇宙インフラを活用した防災パッケージに関するワークショップに今給黎地理地殻活動研究センター長が参加し

た。日本における宇宙インフラの活用例として、電子基準点網 (GEONET) の紹介を行った。

2月10日 第273回地震調査委員会に出席

文部科学省において第273回地震調査委員会が開催され、今給黎地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年1月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

2月16日 第206回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第206回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地殻変動や豊後水道スロースリップなどに関する報告が行われた。

2月17日 平成27年(2015年)2月17日08時06分頃に三陸沖で発生した地震に伴う地殻変動を検出

2月17日08時06分頃に三陸沖で発生した地震(M6.9、深さ約13km、最大震度4)に伴う地殻変動を、電子基準点で検出した。

2月17日 宇宙インフラを活用した防災パッケージに関するワークショップに参加

フィリピン共和国のマニラで行われた宇宙インフラを活用した防災パッケージに関するワークショップに宮原物理測地課長が参加した。日本における宇宙インフラを活用した地理空間情報インフラの成功事例として、電子基準点網 (GEONET) の紹介を行った。

2月24日 第131回火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第131回火山噴火予知連絡会が開催され、飛田地理地殻活動総括研究官が出席した。参加した各機関から全国の火山活動に関する最新の観測結果の報告、総合的な検討が行われ、特に御嶽山、口永良部島、桜島、阿蘇山等の火山活動について重点的に検討が行われた。国土地理院からは、地殻変動観測結果や空中写真判読結果等を報告した。

2月25日 「場所情報コードの位置情報へ

の応用に関する共同研究」最終成果報告会を開催

場所情報コードの位置情報サービスへの応用についての検証に関する共同研究の最終成果報告会を開催した。

2月26日 国際連合で地球上の位置の基準を世界各国で連携して維持することを決議(測量分野では初めての国連決議)

国連総会は、人々の生活や経済活動において正確な緯度・経度を測ることの重要性を認めて、地球上の位置の基準を世界各国で連携して維持することを決議した。測量分野では初めての国連決議となった。

2月26日 国土地理院研究評価委員会を開催

関東地方測量部において、平成26年度第2回国土地理院研究評価委員会(委員長:大森博雄東京大学名誉教授)を開催した。委員会では、特別研究2課題の終了時評価が行われた。

3月4日 地球地図によるアフガニスタン北東部の地図の公開

複数の雪崩で大きな被害が発生したアフガニスタン・イスラム共和国北東部の地球地図を公開した。

3月6日 「平成26年全国都道府県市区町村別面積調」を公表

平成26年10月1日現在の日本国土の面積をとりまとめた「平成26年全国都道府県市区町村別面積調」を公表した。平成25年までの全国都道府県市区町村別の面積については、主に2万5千分1地形図に基づく面積を公表していたが、計測の基礎となる地図を電子国土基本図に切り替えたことで面積の精度が向上した。この計測方法の変更と計測の基礎となる地図の切り替えによって、平成26年の国土面積は、平成25年の377,961.73km²から377,972.28km²に変わり、多くの市区町村や都道府県においても面積が変わった。

3月10日 第274回地震調査委員会に出席

文部科学省において第274回地震調査委員会が開催され、今給黎地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年2月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行わ

れた。

3月10日 企画展「戦災からの復興～地図や写真でたどる復興の道のりと国土の変貌～」を開催

地図と測量の科学館において、企画展「戦災からの復興～地図や写真でたどる復興の道のりと国土の変貌～」を開催した。本企画展では、太平洋戦争終戦から70年を迎える節目の年として、戦災により焦土と化した東京をはじめ、広島、長崎、名古屋など全国各都市の戦後復興の歩みや発展の様子などを地図と写真で紹介した。

3月11日 日本・ベトナム間で測量分野の技術協力の覚書を締結

国土地理院とベトナム社会主義共和国測量・地図作成局との間で、測量・地図分野における能力強化等を目的とした技術協力の覚書を取り交わした。測量・地図分野において、我が国とASEAN地域の個別の国との間で締結する初めての覚書となる。

3月12日 CORSシステムと空間情報基盤に関するセミナーに参加

ベトナム社会主義共和国のハノイで行われたCORSシステムと空間情報基盤に関するセミナーに村上参事官他2名が参加した。日本における地理空間情報活用推進基本法、日本の測地系とGEONETに関する報告がなされた。

3月14日 国連防災世界会議に参加 ～3月18日

仙台国際センター(宮城県仙台市)で行われた国連防災会議本会に、小池院長他5名が参加した。また、仙台市内で関連行事として行われた、パブリックフォーラムにおける国土交通省企画展示内で、防災や復旧・復興に地理空間情報が果たす役割等の説明を行ったほか、プレイベントで都市防災における地理空間情報技術の活用について話し合われた。

3月14日 国連防災世界会議においてハザードマップをはじめとするリスク情報の整備、更新、活用の重要性を確認

国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」において、地理空間情報技術を活用してハザードマップなどのリスク情報を整備、更新、提供することが重要であることが記載された。加えて、国土地理院及び地球地図国際運営委員会

(ISCGM)は、世界主要都市のハザードマップの整備状況を把握するためのポータルサイトをISCGMが構築することを同会議のワーキングセッション「リスク削減のための地球観測とハイテクノロジー」において提案を行い、多くの参加者からの賛同を得た。

3月17日 西之島周辺の空中写真及び写真判読の結果を公開

3月1日にUAVにより西之島周辺の空中写真撮影を実施し、空中写真と地形判読図、立体図をホームページで公開した。

3月24日 第16回測量行政懇談会を開催

関東地方測量部において、第16回測量行政懇談会(委員長:清水英範 東京大学大学院教授)を開催した。本懇談会では、「国土地理院の最近の取り組みについて」、「測量技術者育成検討部会からの報告(中間取りまとめ)」等の報告及び議論が行われた。

3月25日 地理院地図に空中写真を追加

地理院地図に、すでに公開中の1970年代以降の写真に加えて、1945年~50年及び1961年~64年に撮影された写真を追加した(全国の主要都市のみ)。これにより、戦後の国土の変遷を空中写真でたどることができる。

3月28日 全国「山の日」フォーラムに参加 ~3月29日

東京国際フォーラム(東京都千代田区)において開催された『全国「山の日」フォーラム』に国土地理院の展示ブースを出展した。業務を紹介するパネルとともに、三等三角点標石(上部のみ)や山の3D模型などを展示した。

3月31日 地図と測量の科学館で「場所情報コード」を活用した案内サービスを開始

地図と測量の科学館で「場所情報コード」を活用した、展示品や展示エリアの案内サービスを3月31日から開始した。BLEやGPS測位を利用してスマートフォン等で音声で案内するもので、「場所情報コード」を活用した案内サービスは、全国で初の取り組みとなる。

4月9日 第275回地震調査委員会に出席

文部科学省において第275回地震調査委員会が開催され、飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年3月の地震活動」

について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

4月9日 地球地図によるチリ北部の地図の公開

洪水で大きな被害が発生したチリ北部の地球地図を公開した。

4月10日 アクションプラン2015を策定

基本測量に関する長期計画の短期の実施計画として概ね2016年度末に目指す姿や3年間の事業・施策をまとめた「アクションプラン2014」に、平成27年度の施策内容を反映した「アクションプラン2015」を策定した。

4月13日 全ての地方測量部・沖縄支所において全国の測量成果等の閲覧・謄抄本交付開始

全ての地方測量部・沖縄支所において全国の測量成果等の閲覧・謄抄本交付を開始した。これまで、各地方測量部(関東地方測量部を除く)では、管内の測量成果等のみを対象としていた。

4月27日 地球地図によるネパール連邦民主共和国中部の地図の公開

地震で大きな被害が発生したネパール連邦民主共和国中部の地球地図を公開した。

4月30日 平成27年(2015年)4月25日にネパール連邦民主共和国で発生した地震に伴う地殻変動を検出

ネパール連邦民主共和国で発生した地震(Mw7.8(USGS))に伴う地殻変動を、陸域観測技術衛星「だいち2号」(ALOS-2)に搭載された合成開口レーダー(PALSAR-2)のデータを利用したSAR干渉解析により検出した。

5月1日 「GNSS測量による標高の測量マニュアル」を一部改正

衛星測位を活用した測量業務の効率化を図ることを目的としたスマート・サーベイ・プロジェクト(SSP)の一環として策定された「GNSS測量による標高の測量マニュアル」について、更なる効率化を図るため、観測時間を短縮する等の一部改正を行った。

5月8日 大涌谷にGNSS火山変動リモー

ト観測装置 (REGMOS) を設置

地殻変動の様相を明らかにし、火山活動の推移の監視を行うため、GNSS 受信機・太陽電池・地上携帯回線による通信機能を持ち、観測データを自動的に国土地理院 (茨城県つくば市) に送信する自律型の観測装置である REGMOS を、箱根山大涌谷 (神奈川県箱根町) に設置した。

5月8日 箱根山の火山活動に伴う地殻変動の検出について

箱根山周辺の火山活動の活発化に伴い、SAR 干渉解析及び GNSS 連続観測による地殻変動についての情報を公開した。

5月13日 平成27年(2015年)5月13日 06時12分に宮城県沖で発生した地震に伴う地殻変動を検出

5月13日06時12分に宮城県沖で発生した地震 (M6.8, 深さ46km, 最大震度5強) に伴う地殻変動を、電子基準点で検出した。

5月13日 箱根山周辺の火山活動の活発化に伴う地殻変動情報を公開

箱根山周辺の火山活動の活発化に伴い、GNSS 連続観測による地殻変動についての情報を公開した。

**5月14日 国連地名専門家グループ第17回
～5月16日 エクソニムWG会合に参加**

クロアチア共和国のザグレブ市で行われた国連地名専門家グループ第17回エクソニムWG会合に中村国土基盤情報調整官が参加した。会合では、主にエクソニムの使用基準の議論が行われた。

**5月17日 国際測量者連盟ワーキングウィーク2015会合に参加
～5月21日**

ブルガリア国のソフィアで行われた国際測量者連盟ワーキングウィーク2015会合に宮原物理測地課長が参加した。会合では、国土地理院が準会員に承認され、宮原物理測地課長が電子基準点網 (GEONET) を活用した測地基準系の維持管理を紹介した。

5月18日 「日々の座標値 (R3)」(速報解)の提供を開始

観測した日の2日後に計算できる速報解 (Rapid Solution) の提供を開始した。観測した週の約2週間後に提供している「日々の座標値 (F3)」(最終解: Final Solution) よりも早く利用できる。

**5月18日 第22回欧州VLBI事業会議等に参加
～5月22日**

ポルトガル共和国のサンミゲル島ポント・デルガダで開催された、第22回欧州VLBI事業会議、アジア・オセアニアVLBIグループ会議、VGOS技術委員会会議及び第33回IVS評議会に、福崎専門調査官他1名が参加した。観測施設の運用状況の報告や、VGOS実現に向けた議論を行った。

5月20日 日本水準原点を一般公開

関東地方測量部は、「測量の日」の記念行事として、(公社)日本測量協会の協力を得て、我が国の土地の高さの基準となっている日本水準原点を一般公開した。併せて、パネルの展示やミニ講座を開催して、原点や水準測量等の紹介を行った。

5月20日 「測量の日」記念講演会を開催

「測量の日」四国地区推進協議会は、JRホテルクレメント高松 (香川県高松市) において、「古今東西うどん物語」との演題で、「測量の日」記念講演会を実施した。

5月22日 第207回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第207回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地殻変動や2015年4月25日ネパール連邦民主共和国の地震に関する合成開口レーダー (SAR) 解析結果などに関する報告が行われた。

5月29日 マルチGNSS測量マニュアル(案)を策定

欧州連合のGalileoや新たな周波数帯 (L5帯) を含むマルチGNSSの信号を単独若しくは複数の組み合わせで行う測量の作業マニュアルを5月22日に制定し、5月29日に施行・公表した。

5月29日 口永良部島噴火に関する地理空間情報を提供

口永良部島噴火に伴って、SAR干渉解析、空中写真の撮影、写真判読を行い、それらの成果及びGNSS連続観測結果をウェブページに公開した。また、屋久島町へ各種地理空間情報の提供を行った。

5月30日 火山噴火予知連絡会拡大幹事会に出席

気象庁において、火山噴火予知連絡会拡大幹事会が開催され、中島地理地殻活動総括研究官が出席した。口永良部島の火山活動についての議論がなされた。国土地理院からは、地殻変動観測結果やSAR干渉解析結果等を報告した。

6月1日 「測量の日」パネル展を開催

～6月5日

沖縄支所は、沖縄県庁県民ホール（沖縄県那覇市）において、「測量の日」パネル展として、全国47都道府県の形を3次元で表現できる立体模型パズルの展示、最新の測量技術などのパネル展示などを行った。

6月3日 「測量の日」記念フェア2015を開催

近畿地方測量部は、大阪合同庁舎第4号館（大阪府大阪市）において、「測量の日」記念フェア2015として、第19回近畿地方測量技術発表会、パネル展、測量機器・システム展を開催し、石川防災情報管理官が発表を行った。

6月3日 第23回山形県高等学校サーベイコンテストを開催

東北地方測量部、山形県、山形県内の測量関連団体職員を委員とした山形県高等学校サーベイコンテスト委員会は、6月3日に山形県総合運動公園（山形県天童市）において、測量の日記念行事として、第23回山形県サーベイコンテストを開催した。

**6月3日 「くらしと測量・地図」展を開催
～6月5日**

関東地方測量部は、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、「くらしと測量・地図」展を開催した。「測量と地図を楽しく学ぼう！」をテーマに、関連する地図・空中写真・関連資料の展示・説明を行った。

6月4日 第44回国土地理院報告会を開催

日経ホール（東京都千代田区）において第44回国土地理院報告会を開催した。国土地理院からの報告のほか、日本創成会議座長・東京大学公共政策大学院客員教授の増田寛也氏から特別講演をいただいた。本報告会には523名の参加があった。

**6月6日 第27回「測量の日」地図と測量
～6月7日 のミニフェスタ開催**

東北地方測量部は、スリーエム仙台市科学館（宮城県仙台市）において、測量の意義と重要性についての理解と関心の一層の向上を目的に、第27回「測量の日」地図と測量のミニフェスタを開催した。

**6月7日 「測量の日」特別企画 ～遊んで
学んで地図と測量の世界2015～
を開催**

地図と測量の科学館において、「測量の日」特別企画を開催し、国土地理院が提供している様々な地理空間情報をわかりやすく紹介するとともに、子どもから大人まで楽しみながら地図と測量に関する体験ができる企画を行い、2,300名を超える参加者があった。

**6月8日 ISO/TC211 第40回総会に参加
～6月12日**

英国のサウサンプトンで行われたISO/TC211第40回総会に藤村情報普及課長が参加した。古い既存規格を見直すなどの決議が行われた。

6月9日 第277回地震調査委員会に出席

文部科学省において第277回地震調査委員会が開催され、飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年5月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

**6月9日 「国家空間データ基盤（NSDI）
とその活用」に関するワーク
ショップに参加**

モンゴル国のテレレジで行われた「国家空間データ基盤（NSDI）とその活用」に関するワークショップに村上企画部長他1名が参加した。村上企画部長がNSDIの整備と活用に関する基調講演を行った。

**6月9日 平成27年度「測量の日」中部地
区記念行事 測量技術講演会を
開催**

中部地方測量部は、6月9日にウインクあいち（愛知県名古屋市）において、「防災と地理空間情報 ー歴史に学び新技術で備えるー」をテーマとして、「測量の日」中部地区記念行事 記念講演会を実施した。

**6月10日 国連地球規模の地理空間情報管
理に関するアジア太平洋地域委
員会理事会に参加**

モンゴル国のテレレジで行われた国連地球規模の地理空間情報管理に関するアジア太平洋地域委員会理事会に村上企画部長他1名が参加した。地球規模の測地基準座標系（GGRF）と能力開発を活動の優先事項とすることが承認されたほか、第2分科会で永山研究企画官を次期分科会長とすることが承認された。

6月12日 口永良部島に GNSS 火山変動リモート観測装置 (REGMOS) を設置

地殻変動の様相を明らかにし、火山活動の推移の監視を行うため、GNSS 受信機・太陽電池・衛星電話回線による通信機能をもち、観測データを自動的に国土地理院(茨城県つくば市)に送信する自律型の観測装置である REGMOS を、口永良部島本村(鹿児島県屋久島町)に設置した。

6月15日 測量や災害対策への活用を目指した小型飛行体 UAV の飛行試験を実施

国土地理院と民間各社が UAV を持ち寄り、UAV の性能や運用方法を比較し、適した活用分野を見極め、併せて課題を探索するための飛行試験が、一般社団法人東京都測量設計業協会 50 周年記念研修会の一環として行われた。マニュアル飛行による撮影や、プログラミング飛行による撮影など、UAV の性能や特性に合わせた飛行が行われた。

6月15日 第 132 回火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第 132 回火山噴火予知連絡会が開催され、中島地理地殻活動総括研究官が出席した。参加した各機関から全国の火山活動に関する最新の観測結果の報告、総合的な検討が行われ、特に口永良部島、箱根山、御嶽山、桜島等の火山活動について重点的に検討が行われた。国土地理院からは、地殻変動観測結果や SAR 干渉解析結果等を報告した。

6月18日 第 20 回中国地区測量技術講演会

中国地方測量部長を委員長とする「測量の日」中国地区連絡協議会は、第 20 回中国地区測量技術講演会を開催した。今回は「土砂災害対応と防災・減災に向けた新たな対応策」をテーマとして、海堀正博広島大学大学院教授による特別講演等が行われた。

6月22日 国土地理院研究評価委員会を開催

関東地方測量部において、平成 27 年度第 1 回国土地理院研究評価委員会(委員長:大森博雄東京大学名誉教授)を開催した。委員会では、平成 28 年度からの実施を計画している特別研究について事前評価が行われた。

6月22日 「測量の日」記念講演会を開催

九州地方測量部は、(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会との共催で、福岡県中小企業振興センター(福岡県福岡市)において、「測量の日」記念講演会を開催した。約 130 名の地方公共団体、測量業等関係者が参加した。講演会では、「防災と地理空間情報」などの講演が行われた。

6月22日 「測量の日」関連行事としてパネル展を開催

北陸地方測量部は、「測量の日」関連行事として、6月22日から6月26日に高岡市役所庁舎 1 階市民ロビー(富山県高岡市)においてパネル展を行った。

6月22日 国際測地学及び地球物理学連合 (IUGG) 第 26 回総会に参加

チェコ共和国のプラハで行われた国際測地学及び地球物理学連合(IUGG)第 26 回総会に川元主任研究官他 1 名が参加した。日本の連続 GNSS 観測網を用いた津波警報支援のためのリアルタイム解析システム REGARD について、概要などの紹介をした。

6月30日 一等三角点を離島(銭洲)に設置

伊豆諸島西部の銭洲(伊豆半島の石廊崎から南に約 70km)に一等三角点(点名:銭洲)を設置した。平成 19 年に施行された海洋基本法に基づき、排他的経済水域の確定等の国土の適切な保全・管理に資するため、離島の位置情報整備を行っている。

7月1日 「電子国土賞 2015」を募集

電子国土基本図等の国土地理院のデータを活用する GIS ソフトウェアや GIS コンテンツの中から独創性・有用性・発展性・操作性等に優れたものを表彰する『電子国土賞 2015』の募集を行った。

7月7日 平成 27 年度国土地理院入札監視委員会総会及び第 1 回定例会議を開催

関東地方測量部において、平成 27 年度国土地理院入札監視委員会総会及び第 1 回定例会議を開催した。総会では、委員会の運営に関する説明及び委員長・委員長代理の選出等が行われ、委員長に浅見泰司委員、委員長代理に川合竜太委員が選出された。定例会議では、国土地理院が発注した平成 26 年 10 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が出した事案についての審議が行われた。

7月9日 第278回地震調査委員会に出席

文部科学省において第278回地震調査委員会が開催され、飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年6月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

7月14日 「測量の日」記念講演会を開催

「測量の日」四国地区推進協議会は、サン・イェルブ高松（香川県高松市）において、『「スマート・サーベイ・プロジェクト(SSP)」～衛星測位を活用した測量業務の効率化～』との演題で、「測量の日」記念講演会を実施した。

7月16日 平成27年測量事業関係功労者及び優良業務並びに優良技術者表彰式を開催

測量事業の推進に功績のあった測量事業関係功労者及び平成26年度に完了した国土地理院発注の測量業務実施者のうち、特に優れた成績を収めた優良業務並びに優良技術者に対し、表彰式を行った。測量事業関係功労者3名、優良業務4件、優良技術者2名の院長表彰、優良業務1件の地方測量部長表彰を行った。

**7月18日 サイエンスフェスタ in 秋葉原
～7月20日 に参加**

TX秋葉原駅構内の「TX広場」において「サイエンスフェスタ in 秋葉原」が開催され、国土地理院は「地図と測量の科学館」の展示ブースを出展した。「日本列島陰影段彩余色立体図」のミニ版展示のほか、開催中の企画展紹介パネルを展示した。

**7月25日 「測量の日」関連行事としてパネル展を開催
～7月29日**

北陸地方測量部は、「測量の日」関連行事として、7月25日から7月29日に黒部市ふれあいプラザイベントスペース（富山県黒部市）においてパネル展を行った。

**7月26日 実用的な高さ基準座標系に関する技術セミナーに参加
～7月27日**

シンガポール共和国で行われた実用的な高さ基準座標系に関する技術セミナーに宮原物理測地課長が参加し、講師として電子基準点網(GEONET)を活用した高さ基準系の効率的な維持管理、日本のジオイド・モデルを紹介した。

**7月28日 企画展「測量のひ・み・つ」を開催
～11月29日**

地図と測量の科学館において、企画展「測量のひ・み・つ」を開催した。スマートフォンやカーナビで現在地を知る技術の基礎となっている測量技術について、その方法や仕組みなどをパネルで紹介した。

7月30日 地理院タイル(写真)のズームレベル18を公開

地理院タイル(写真)のズームレベル18を公開した。これにより、地理院地図においてより鮮明な写真が閲覧可能になった。

7月31日 地点別浸水シミュレーション検索システム(通称:浸水ナビ)を公開

知りたい場所の浸水リスクがWEBサイト上でわかる、地点別浸水シミュレーション検索システム(通称:浸水ナビ)を公開した。どの河川が氾濫した場合に浸水するか、河川の決壊後、どれくらいの時間で氾濫水が到達するか、どれくらいの時間、浸水した状態が継続するかなどが容易に調べることができるようになった。

**8月3日 地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会
～8月7日 (UNCE-GGIM)第5回会合等に参加**

アメリカ合衆国のニューヨークで行われた地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会(UNCE-GGIM)第5回会合等に村上企画部長他2名が参加した。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に地理空間情報が盛り込まれたことを踏まえ、今後統計機関と連携して今後の指標の議論に貢献していくことなどが合意された。

8月11日 第279回地震調査委員会に出席

文部科学省において第279回地震調査委員会が開催され、飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年7月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

8月19日 桜島の火山活動に伴う地殻変動の変動源を推定

だいち2号によるSAR干渉解析結果と、国土地

理院の電子基準点 (GEONET) 及び気象庁の GNSS 観測点で観測された地殻変動量に基づき、桜島の火山活動に伴う地殻変動の変動源の推定を行った。

8月21日 **ハザードマップポータルサイトに地方公共団体が公表している大規模盛土造成地マップを掲載**

国土交通省が運営しているハザードマップポータルサイトの「防災に役立つ地理情報」に、地方公共団体が公表している大規模盛土造成地マップの一部を掲載した。

8月21日 **第208回地震予知連絡会を開催**

関東地方測量部において、第208回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地殻変動や予測実験の試行についてなどに関する報告が行われた。

8月21日 **火山噴火予知連絡会拡大幹事会に出席**

鹿児島地方気象台において、火山噴火予知連絡会拡大幹事会が開催され、中島地理地殻活動総括研究官が出席した。桜島と口永良部島の火山活動についての議論がなされた。国土地理院からは、地殻変動観測結果や SAR 干渉解析結果等を報告した。

8月23日 **2015年国際地図学会議**
～8月28日 **(ICC2015)に参加**

ブラジル連邦共和国のリオデジャネイロで行われた2015年国際地図学会議 (ICC2015) に中埜研究官が参加した。中埜研究官から地震時地盤災害推計システムについて報告されたほか、3Dプリンタによる触地図などが展示された。

8月24日 **地理院地図による治水地形分類図の閲覧範囲が拡大**

地理院地図による治水地形分類図の閲覧範囲が拡大した。既存の範囲399面分に加え、新たに183面分の範囲が閲覧できるようになった。

8月31日 **西之島周辺の空中写真及び写真判読の結果を公開**

7月28日に UAV により西之島周辺の空中写真撮影を実施し、空中写真と地形判読図、立体図をホームページで公開した。

9月1日 **「統合災害情報システム (DiMAPS)」の運用を開始**

国土交通省は、地震や風水害などの自然災害発生時に、迅速に現場から災害情報を集約して地図上にわかりやすく表示することが出来る、今までにない全く新しいシステムである、「統合災害情報システム (DiMAPS)」の運用を開始した。

9月1日 **桜島噴火に伴う地殻変動情報を公開**

桜島の噴火に伴い、SAR 干渉解析及び GNSS 連続観測による地殻変動についての情報を公開した。

9月9日 **第280回地震調査委員会に出席**

文部科学省において第280回地震調査委員会が開催され、飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年8月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

9月30日 **平成27年9月関東・東北豪雨に関する地理空間情報を提供**

平成27年9月関東・東北豪雨に関して、推定浸水範囲の判読、空中写真の撮影、UAV による動画等の撮影を行い、国土地理院ウェブサイトを通して公開した。

9月14日 **阿蘇山噴火に伴う地殻変動情報を公開**

阿蘇山の噴火に伴い、SAR 干渉解析及び GNSS 連続観測による地殻変動についての情報を公開した。

9月15日 **企画展「火山の国に生きる」を開催**
～11月29日 **催**

地図と測量の科学館において、企画展「火山の国に生きる」を開催した。雄大な景観や温泉、地熱エネルギーなど私たちの暮らしに恩恵を与えてくれる一方で、時として人々の生命や生活を脅かす大きな災害を引き起こすこともある火山について、火山噴火の歴史・写真・地形模型・地図等を通じて紹介した。

10月1日 **GitHub Universe に参加**
～10月2日

アメリカ合衆国のサンフランシスコで行われた GitHub Universe に藤村情報普及課長が参加し、地理院地図における GitHub を用いた高速なソフトウェア開発や外部技術者とのコラボレーションにつ

いて講演を行った。

10月5日 第42回日韓測地・地図協力会議を開催

国土地理院と大韓民国国土地理情報院は、大韓民国の済州島で日韓測地・地図協力会議を開催した。日本側からは村上参事官他3名、大韓民国側からはソソ測地課長他5名が出席した。測地、地図作成、地理空間情報にかかる事業や技術、最近の動向についての情報交換、今後の協力に関する提案が行われた。

10月5日 国連アジア太平洋地域地図会議 ～10月9日 (UNRCC-AP) 第20回総会等

大韓民国の済州島で行われた国連アジア太平洋地域地図会議(UNRCC-AP)第20回総会等に、村上参事官他4名が参加した。本会議において、議長として村上参事官が推薦され、承認された。

10月6日 地球地図によるグアテマラ共和国中部の地図を公開

地すべりが発生し、大きな被害が発生しているグアテマラ共和国北部のバダフシヤン州周辺の地球地図を公開した。

10月6日 2015年9月16日チリの地震に伴う地殻変動を検出

チリ共和国の地震(Mw8.3(USGS))に伴う地殻変動を把握するため、「だいち2号」(ALOS-2)に搭載された合成開口レーダーのデータを使用してSAR干渉解析を行った。解析の結果、震央の50km～70kmの付近の沿岸部を中心に1m以上の変動が検出された。

10月7日 第34回国際VLBI事業(IVS)評 ～10月8日 議会議に参加

カナダのペンティクトンで行われた第34回国際VLBI事業(IVS)評議会に、川畑宇宙測地課長補佐が参加した。現在のIVSの活動が最善努力の原則であること等が問題点として取り上げられ、各機関の事情に左右されず安定した活動を継続的に行うため、IVSの成果の重要性について広報活動を充実させていくことが確認されたほか、VGOS観測における相関処理についての方針を議論するワーキンググループの設立が決定された。

10月9日 優れた機能を持つ防災アプリを選定

応募のあった多数の有用な防災アプリの中から「避難誘導支援」部門で3アプリ、「リスクコミュ

ニケーション」部門で3アプリ(全体で6つの防災アプリ)を選定し、それぞれの部門で特に優れていると評価された2つの防災アプリには平成27年度防災アプリ賞を、他の4つの防災アプリには、それぞれの機能の特徴等に基づいた個別の賞を授与した。

10月9日 第281回地震調査委員会に出席

文部科学省において第281回地震調査委員会が開催され、飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では、「2015年9月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

10月16日 口永良部島全島のUAVによる空中写真撮影及び写真判読の結果を公開

9月8日、11日、12日の3日間にUAVによる空中写真撮影を実施し、7月14日に撮影した空中写真の判読結果及び、平成24年12月に撮影した写真と比較し判読した結果、火口の北東側でも噴火による火砕流や熱風などで樹木がなぎ倒されたり焼損したりしていることが確認された。

10月16日 日本OSS奨励賞を受賞

国土地理院が提供する地理空間情報について、より高い公共性を確保すべくオープンデータとしての利用及びサービスのオープンソース化を推進したとして、日本OSS推進フォーラムが主催する日本OSS奨励賞を情報普及課が受賞した。

10月21日 栃木県との地理空間情報活用促進のための協力に関する協定を締結

国土地理院と栃木県がそれぞれ保有する地理空間情報の相互活用及び情報・技術の提供に関し、連携及び協力を強化するとともに、災害対応においても迅速かつ効果的な防災・減災に向けた協力が強化されることで、国民の利便性の向上及び県勢の発展と安全・安心な地域社会づくりに寄与することを目的として、地理空間情報活用促進のための協力に関する協定を締結した。

10月21日 第133回火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第133回火山噴火予知連絡会が開催され、中島地理地殻活動総括研究官が出席した。参加した各機関から全国の火山活動に関す

る最新の観測結果の報告，総合的な検討が行われ，特に口永良部島，阿蘇山，桜島，箱根山等の火山活動について重点的に検討が行われた。国土地理院からは，地殻変動観測結果や SAR 干渉解析結果等を報告した。

10月26日 近畿地区において産学官連携協議会が発足

近畿地方測量部は，地理空間情報に係る産業界，教育機関，行政機関から構成する「地理空間情報に関する近畿地区産学官連携協議会（会長：吉川真大阪工業大学教授）」を設立した。

10月26日 関西 G 空間フォーラム 2015 を開催

近畿地方測量部は，葉業年金会館（大阪府大阪市）において，関西地域における産学官の連携により関西 G 空間フォーラム 2015 を開催した。本フォーラムは，関西における地理空間情報の利活用についての現状の認識と，産学官の連携による地理空間情報の利活用の推進を目的としており，合同シンポジウムの中で第 34 回測量技術講演会を実施し，村上参事官が特別講演を行った。

10月28日 地球地図によるアフガニスタン・イスラム共和国北部の地図を公開

地震が発生し，大きな被害が発生しているアフガニスタン・イスラム共和国北部の地球地図を公開した。

11月1日 衛星測位システムに関する国際～11月6日 委員会第 10 回総会に参加

アメリカ合衆国のボルダーで行われた衛星測位システムに関する国際委員会第 10 回総会に佐藤衛星測地課長補佐が参加した。IDM（Interference Detection and Mitigation；電波干渉の検出と軽減）などについて議論された。

11月11日 第 282 回地震調査委員会に出席

文部科学省において第 282 回地震調査委員会が開催され，飛田地理地殻活動研究センター長が出席した。本会議では，「2015 年 10 月の地震活動」について，関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ，地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

11月12日 平成 27 年度国土技術研究会に参加～11月13日 加

国土交通省本省において，平成 27 年度国土交通省国土技術研究会が開催された。国土地理院から自由課題（イノベーション部門）1 課題，自由課題（一般部門：安全安心）2 課題，ポスターセッション 1 課題の発表を行った。

11月18日 「地理院地図」のコンテンツとして「人口集中地区 H22 年（総務省統計局）」を追加

「地理院地図」のコンテンツとして「人口集中地区 H22 年（総務省統計局）」を追加した。

11月18日 GGOS 機関間会合(GIAC)議長が～11月19日 国土地理院を訪問

GGOS 機関間会合（GIAC）の議長を務める Per Eric Opseth ノルウェー地図局測地研究所所長他 1 名が国土地理院を訪問した。測地観測への貢献に対する感謝が述べられるとともに，引き続き測地観測において連携を継続することが確認された。

11月19日 砺波平野断層帯，三峠・京都西山断層帯，山崎断層帯，雲仙断層群，人吉盆地南縁断層の都市圏活断層図を公開

空中写真の判読等によって活断層を抽出し，詳細な位置や断層のずれの方向などを電子地形図 25000 上にまとめた都市圏活断層図，砺波平野断層帯とその周辺「高岡」，三峠・京都西山断層帯とその周辺「舞鶴」「綾部」，山崎断層帯とその周辺「北条」「高砂」，雲仙断層群とその周辺「雲仙」，人吉盆地南縁断層とその周辺「人吉盆地」の 7 面を公開した。

11月19日 第 1 回アジア・オセアニア VLBI～11月20日 会議に参加

オーストラリア連邦のホバートで行われた第 1 回アジア・オセアニア VLBI 会議に川畑宇宙測地課長補佐が参加した。VLBI 活動に関する現状報告及び AOV への展望についての報告があった。

11月24日 「電子国土賞 2015」の受賞作品を決定

国土地理院が提供・配信する電子国土基本図等を利用した GIS ソフトウェアや GIS コンテンツの中から優れたものを表彰する「電子国土賞 2015」等の受賞作品を決定した。

11月25日 第 10 回日中測量・地図協力会議を開催

国土地理院と国家測繪地理信息局は，国土地理

院において日中測量・地図協力会議を開催した。日本側からは村上参事官他4名、中国側からは王副局长他2名が出席した。日中両国における測量、地図作成に係る最近の事業の紹介、小型無人飛行機(UAV)を用いた空中写真撮影についての情報交換、測量・地図作成に係る国際活動及び特定分野における協力についての合意が行われた。

11月26日 G空間 EXPO2015 が開催 ～11月28日

日本科学未来館(東京都江東区)において、G空間 EXPO2015 が開催された。本 EXPO は、児童生徒から社会人まで幅広い方々に G 空間情報への理解を深めていただき「G 空間社会」の裾野を広げる事を目的として、展示、講演・シンポジウム及び体験イベント等を通じて、未来をつくる日本の技術やサービスを紹介するとともに、民間事業者等の技術・サービスの提案や創意工夫を掘り起こす場として産学官の連携により開催され、3日間で約19,000人の入場者があった。国土地理院は、Geo アクティビティフェスタ、電子国土賞2015表彰式・受賞作品紹介及び施策展示並びに講演・シンポジウム等を実施した。

11月27日 第209回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第209回地震予知連絡会を開催した。本会議では、全国の地殻変動や東北地方太平洋沖地震後の日本列島周辺域のプレート運動速度の変化などに関する報告が行われた。

12月4日 地球地図によるインド南部の地図を公開

豪雨により発生した洪水で、大きな被害が発生しているインド南部の地球地図を公開した。

12月7日 地球規模の地理空間情報管理に ～12月9日 関する国連専門家委員会(UNGGIM) 拡大幹部会議に参加

アメリカ合衆国のニューヨークで行われた地球規模の地理空間情報管理に関する国連専門家委員会(UNCE-GGIM) 拡大幹部会議に村上参事官が参加した。国連経済社会理事会(ECOSOC)への報告書案及び今後の活動方針が確認された。

12月7日 第7回マルチ GNSS アジア ～12月9日 (MGA) カンファレンスに参加

ブルネイ・ダルサラーム国のバンドルスリブガワンで行われた第7回マルチ GNSS アジア(MGA)カンファレンスに辻測地観測センター長が参加した。衛星測位に関する各国の状況が共有され、国土

地理院からは「GEONETによる自然災害の軽減」と題する講演を行った。

12月7日 ISO/TC 211 第41回総会ウィーク ～12月11日 クに参加

オーストラリア連邦のシドニーで行われた ISO/TC 211 第41回総会ウィークに藤村国際課長が参加した。専門委員会(TC)の運営のため、30項目の決議がなされた。

12月8日 平成27年度国土地理院入札監視 委員会第2回定例会議を開催

関東地方測量部において、平成27年度国土地理院入札監視委員会第2回定例会議を開催した。国土地理院が発注した平成27年4月1日から平成27年9月30日までの測量業務、役務の提供等及び物品の製造等の中から委員会が抽出した事案について審議が行われた。また、定例報告の中で、「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格登録」について審議された。

12月8日 「第16回いばらき児童生徒地図 ～12月20日 作品展」を開催

茨城大学図書館において、「第16回いばらき児童生徒地図作品展」を開催した。本作品展は、茨城県内の小・中学生を対象として、身のまわりの環境や地域の姿を様々な視点から調べ、地図にまとめることを目的として開催した。また、全応募作品115点の中から優秀な作品46点を選出して展示するとともに、最優秀賞及び優秀賞については、12月12日に表彰式を行った。

12月9日 広報活動を強化するためのリー ディング・プロジェクトを開始

国土管理、地域の安心・安全、新しい仕事の創生と生活の利便に今や欠かすことができない測量・地理空間情報の重要性を広報するため、広報戦略を策定し、これに基づきリーディング・プロジェクトを実行する。

12月9日 第283回地震調査委員会に出席

文部科学省において第283回地震調査委員会が開催され、矢来地殻変動研究室長が飛田地理地殻活動研究センター長の代理で出席した。本会議では、「2015年11月の地震活動」について、関係行政機関及び大学等による調査観測結果やこれまでの研究成果の整理・分析が行われ、地震活動の現状について総合的な評価が行われた。

**12月10日 関西G空間フォーラム in 兵庫を
開催**

近畿地方測量部は、兵庫県中央労働センター（兵庫県神戸市）において、阪神・淡路大震災から20年の節目の年を迎え、大震災の経験と教訓を忘れることなく地域や世代を越えて伝え続け、広く発信し続けるため、産学官の連携により「関西G空間フォーラム in 兵庫」を開催し、和田宇宙測地課長が講演を行った。

**12月14日 2015年米国地球物理学連合
～12月18日 (AGU) 秋季大会に参加**

アメリカ合衆国のサンフランシスコで行われた2015年米国地球物理学連合（AGU）秋季大会に森下研究官が参加した。だいち2号のデータを利用したSAR干渉解析によって明らかにされたネパール連邦民主共和国の地震に伴う地殻変動に関する研究内容を発表した。

**12月18日 平成27年度補正予算の政府案が
決定**

平成27年度補正予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院の補正予算案は、総額約7900万円となった。

12月24日 平成28年度予算の政府案が決定

平成28年度予算の政府案が閣議で決定され、国土地理院の予算案は、総額約95.1億円となった。

**12月25日 電子地形図20万と数値地図（国
土基本情報20万）の全国整備が
完了**

電子地形図20万及び数値地図（国土基本情報20万）の全国整備が完了した。全国を130面でカバーする。